

# START 大学エコシステム推進型「PSI・GAP ファンド支援プログラム」募集要項

2022年7月15日

Peace & Science Innovation Ecosystem 事務局

## 1. 主旨・目的

2022年5月に、広島大学をはじめ共同機関7大学が、「大学発新産業創出プログラム(START)スタートアップ・エコシステム形成支援(令和3(2021)年度補正予算及び令和4(2022)年度当初予算)に採択されました。

本プログラムは、2020年7月に内閣府が選定した「スタートアップ・エコシステム拠点都市」において、大学から生まれる優れた技術シーズの実用化やアントレプレナーシップを有する人材の育成を強力に支援し、社会的インパクトの大きいスタートアップが持続的に創出される体制を構築することを目指すプログラムです。

広島大学及び共同機関6大学に加え、平和を希求する精神とともにイノベーションを創出するエコシステム(PSI:Peace & Science Innovation Ecosystem)の構築のため、中四国地域を中心に首都圏・海外を含む約100に上る機関に参画いただきました。今後、2021年10月に設立した「ひろしま好きじゃけんコンソーシアム」を中四国地域のスタートアップ一元的支援組織とし、中四国地域の特徴的な技術領域(健康医療領域、環境エネルギー領域、次世代ものづくり領域等)を重点領域とした「大学発ベンチャーの創業支援」や「アントレプレナーシップ人材育成プログラム」の開発・運営等を実施し、**健康長寿や SDGs を新産業創出により加速するとともに、楽しく・活き活き・自然とともに過ごせる「平和な社会(地域版・Well-being)」の実現等**を目指してまいります。

**地域発の大学発ベンチャー企業の創出に向けた取組の一環として、「PSI・GAP ファンドプログラム」を実施**します。ここでは、大学の革新的技術シーズを基にグローバル市場を目指す大学等発ベンチャーや、**大学の革新的技術シーズを基に SDGs の達成や地域の社会課題解決にも資する社会的インパクトの高い大学等発ベンチャーを創出することを目的**としており、大学の技術シーズの発掘、研究開発課題の募集・選考を行います。

採択後、研究代表者等に対して、研究開発費(GAP ファンド)の適切な配分、起業ノウハウ等の学習、ビジネスモデルのブラッシュアップ、想定顧客訪問サポート、個別メンタリング等の支援を実施し、更にはプラットフォーム内で Demo Day を開催し、起業活動支援プログラムで支援を行った研究開発課題に対して、VC、将来の提携事業先企業等が参画する活動成果を発表(ピッチを含む)する場を提供します。

今般、以下の内容で、「令和4年度・PSI・GAP ファンドプログラム」への参加希望者を募集させていただきます。なお、**本GAP ファンドプログラムは基礎的な研究への支援を対象にはしていませんので、ご注意ください。**

## 2. 支援対象となる技術領域、支援金額等

### (1) 支援対象となる技術領域の分類について

応募申請時に、ご自身の研究内容が以下の4つのどの領域に属するか確認の上、選択・申請下さい。

なお、本領域は国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)下の研究開発戦略センター(CRDS)が発行する「研究開発の俯瞰報告書<sup>※</sup>」で対象としている俯瞰区分・研究開発領域に準じていますのでご参照ください。

- (A) 健康医療領域(参考:俯瞰報告書における「ライフサイエンス・臨床医学分野」を参照)
- (B) 電子・情報・機械技術領域(参考:俯瞰報告書における「システム・情報科学技術分野」を参照)
- (C) 環境・エネルギー・ナノテク・材料技術領域(参考:俯瞰報告書における「環境・エネルギー分野」「ナノテクノロジー・材料分野」を参照)
- (D) 地域または各種課題解決技術領域(上記に該当しない領域(人文社会科学等))

※<https://www.jst.go.jp/crds/report/CRDS-FY2020-FR-TOC.html>

## (2) 支援対象となるタイプ分類・件数について

革新的な技術シーズについて、以下の2つのタイプにて分類して御用意しています。最初の応募申請時にどちらか希望してください。

	主な支援対象	1件あたりの支援金額※1	採択予定件数※2
タイプⅠ	① 市場・ビジネスの成立が見込まれる課題 ② 起業に向けた PoC や試作品開発に大きな資金が必要な課題	1,000 万円～ 3,000 万円(最大)	数件程度
タイプⅡ	① 市場・ビジネスの成立の可能性のある課題 ② ビジネスプランや知財戦略の強化・市場調査に必要なデータや試作品作成	100 万円～ 1,000 万円(最大)	合計 20 件程度

※1 直接経費に対する 30%の間接経費が所属機関へ配分されます。

※2 金額や採択数につきましては、変更の可能性もあります。

## (3) 本資金使用期間

採択後に配分された資金は、原則として 3/31 までに納品、支払、検収まで終了する必要があります。

## (4) 対象大学

対象となる大学は、**主幹機関及び共同機関である7大学(広島大学、岡山大学、島根大学、愛媛大学、県立広島大学、広島市立大学、叡啓大学)**です。

## 3. 応募資格・資金使途

### (1) 応募資格等 ※タイプⅠとタイプⅡで異なりますのでご注意ください。

- ・ 研究代表者として応募できるのは、上記 7 大学に所属する教職員、院生です。また、院生が申請する場合は担当教員との連名で申請して下さい。
- ・ 既に起業したベンチャー企業への技術移転が目的の場合は、本制度の趣旨と異なるため、申請できません。ただし、すでにベンチャーを起業した研究者であっても、応募要件を満たす限りにおいて申請は可能であり、既に立ち上げたベンチャーにて研究開発を行うことができない合理的な理由を明確に提示いただくことが適えば、申請は可能です※。

※ 採否の最終決定は、JST により行われます。過去に、JST で承認された具体例は、数件のみです。

- ・ タイプⅠ については、更に、ベンチャーキャピタル等に所属する方が参画していることが必須となります。 GAP ファンド審査会 への申請時までには特定してください。
- ・ 詳細につきましては、別紙1の「研究代表者やシーズの要件について」をご確認ください。

### (2) 重複応募について ※タイプⅠとタイプⅡで異なりますのでご注意ください。

- ・ 過去にJSTのGAPファンドに採択された場合や、現在JSTから採択中である課題であっても申し込みは可能ですが、以下の制限がありますので、ご注意ください。
- ・ PSI・GAP ファンド審査会への申請に際し、同一の研究代表者は、  
✓ JST のプロジェクト推進型 起業実証支援(旧 START プロジェクト支援型)、

- ✓ ビジネスモデル検証支援(旧 SCORE チーム推進型)、
- ✓ SBIR フェーズ 1 支援(ただし、技術移転による技術シーズの事業化を目指す場合は一部異なる)、
- ✓ 大学エコシステム推進型 大学推進型(旧 SCORE 大学推進型)、

内の研究開発課題、スタートアップ・エコシステム形成支援内の研究開発課題を同時に申請または実施することはできません。

- ・ 詳細は JST 公募要領 ([https://www.jst.go.jp/start/su-ecosys/r4/dl/2022youkou\\_su-ecosys.pdf](https://www.jst.go.jp/start/su-ecosys/r4/dl/2022youkou_su-ecosys.pdf)) の P52~53 の図を参照ください。
- ・ ただし、申請済み課題の不採択が既に決まっている、または実施中課題が終了し当該起業活動支援プログラムの実施期間と重複しない場合に限り、当該起業活動支援プログラム申請可能です。

### (3)資金使途

- ・ 研究代表者がビジネスモデルのブラッシュアップ、試作品製作、データ(実験結果、計算結果)等の整備を進めるための費用となります。
- ・ **純粋な基礎研究用途は不可です。また、既存及び立ち上げたベンチャー企業のため(登記費用や事務所経費等)には使用することはできません。**
- ・ 詳しくは、JST 公募要領 ([https://www.jst.go.jp/start/su-ecosys/r4/dl/2022youkou\\_su-ecosys.pdf](https://www.jst.go.jp/start/su-ecosys/r4/dl/2022youkou_su-ecosys.pdf)) の P61-64 を確認ください。

## 4. 申請・審査手順

### (1)申請書類

(5)の申請締め切り(8月19日(金)18時厳守)までに、下記の5点の書類について、(5)の提出先まで御提出下さい。

#### 【申請書類】

- ①(様式2)研究開発計画書(タイプ I またはタイプ II のどちらかを提出)(全員)
- ②(様式3)事業費支出・執行計画書(全員)
- ③(様式4)学生向け確認書(必要な者のみ、申請時には必要事項を記載した書類をスキャンし添付)
- ④(様式5)研究開発課題概要(全員)
- ⑤(様式6)ヒアリング様式(全員)

**質問等は、以下の一覧にある所属先の各大学の窓口へお問い合わせ下さい。**

### (2)GAP ファンド審査会

- ・ 別途、所定の申請書を提出して頂きます。
- ・ この時点で、技術領域分類(4つの領域の何れか)及び技術シーズ分類(「タイプ I 」もしくは「タイプ II 」)について選択して頂きます。
- ・ 令和4年9月頃にファンド委員会を実施します。7大学の審査員及び外部有識者で構成される4つの技術領域ごとに設置する「PSI・GAP ファンド小審査会」(守秘義務あり)での書面審議及びヒアリング審議を経て、最終的に「PSI・GAP ファンド親審査会」(守秘義務あり)により、採択を決定します。
- ・ 採択者には、活動支援金が支給されます。採択者は、事務局が依頼するメンターと定期的に打ち合わせを行い、月1回程度の進捗報告を経て、毎年2月~3月に開催される「Demo Day(成果報告会)」にご参

加いただきます(詳細につきましては、お問合せ後に各大学の担当者からご説明します。)

### (3) 審査の観点

様式6(ヒアリング様式)の2ページ目で掲げる9つの観点に加え、知的財産の創出及び知的財産の有効活用の視点を重視します。

### (4) 採択後の会計処理、起業支援

- ・ 本資金の予算科目は研究開発費として配分され、所属する各大学を通し、JST に会計報告が行われます。
- ・ 本事業で行われた開発などにより得られた知的財産等の成果は、所属する大学の規程により帰属先が決まります。

### (5) 申請締め切り・提出先

各大学の提出先に電子ファイルで提出下さい(8月19日(金)18時(厳守))。

大学	提出先
広島大学	<a href="https://forms.office.com/r/dfJ9Hxanht">https://forms.office.com/r/dfJ9Hxanht</a>
岡山大学	<a href="mailto:start-up2@adm.okayama-u.ac.jp">start-up2@adm.okayama-u.ac.jp</a>
島根大学	<a href="mailto:rsd-kenkyu@office.shimane-u.ac.jp">rsd-kenkyu@office.shimane-u.ac.jp</a>
愛媛大学	<a href="mailto:renkeika@stu.ehime-u.ac.jp">renkeika@stu.ehime-u.ac.jp</a>
県立広島大学	<a href="mailto:start-up@pu-hiroshima.ac.jp">start-up@pu-hiroshima.ac.jp</a>
広島市立大学	<a href="mailto:office-shakai@m.hiroshima-cu.ac.jp">office-shakai@m.hiroshima-cu.ac.jp</a>
叡啓大学	<a href="mailto:academic-planning@eikei.ac.jp">academic-planning@eikei.ac.jp</a>

### (6) その他

- ・ 採択された課題は、所属機関、部局名、職名、氏名、技術シーズの名称、採択金額を公表する予定です。技術シーズの名称について、公表できる名称も申請書に記入してください
- ・ 以下の JST の公募要領(令和3年度補正予算に該当する箇所)に反する場合には、ご参加いただけない場合もございます( [https://www.jst.go.jp/start/su-ecosys/r4/dl/2022youkou\\_su-ecosys.pdf](https://www.jst.go.jp/start/su-ecosys/r4/dl/2022youkou_su-ecosys.pdf) )。
- ・ 申請頂いた内容につきましては、守秘義務を課した上で、本事業の協力機関に開示することがあります。協力機関は以下に記載されています( <https://www.jst.go.jp/start/su-ecosys/project2022.html> )。

### <募集要項全体 お問合せ先>

※ご所属の大学窓口にお問い合わせください。

※いただいた問い合わせは PSI 事務局にて取りまとめ、必要なものは各大学へ共有します。

そのため、**可能な限りメールでの問い合わせをお願い致します。**

#### ○広島大学

広島大学学術・社会連携室

Email:[psi-office@ml.hiroshima-u.ac.jp](mailto:psi-office@ml.hiroshima-u.ac.jp)

TEL:[082-424-4313](tel:082-424-4313) または [082-424-4445](tel:082-424-4445)

○岡山大学

岡山大学イノベーションマネジメントコア (IMaC) ベンチャー支援フィールド

Email: [start-up1@adm.okayama-u.ac.jp](mailto:start-up1@adm.okayama-u.ac.jp)

[TEL:086-251-8462](tel:086-251-8462)

○島根大学

研究・地方創生部研究推進課学術研究支援グループ

[rsd-kenkyu@office.shimane-u.ac.jp](mailto:rsd-kenkyu@office.shimane-u.ac.jp)

TEL:0852-32-6056

○愛媛大学

社会連携支援部社会連携課

E-mail: [renkeika@stu.ehime-u.ac.jp](mailto:renkeika@stu.ehime-u.ac.jp)

○県立広島大学

地域基盤研究機構

E-mail : [start-up@pu-hiroshima.ac.jp](mailto:start-up@pu-hiroshima.ac.jp)

TEL : 082-251-9534

○広島市立大学

社会連携センター

E-mail: [office-shakai@m.hiroshima-cu.ac.jp](mailto:office-shakai@m.hiroshima-cu.ac.jp)

○叡啓大学

教育企画課

E-mail: [academic-planning@eikei.ac.jp](mailto:academic-planning@eikei.ac.jp)

[TEL:082-225-6312](tel:082-225-6312)

## 別紙1「研究代表者やシーズの要件について」

＜研究開発課題の研究代表者の要件について＞ ※ 以下の①～⑤の要件を全て満たすこと。

- ① 応募時点において、所属する国公立大学、国公立高等専門学校、大学共同利用機関法人、独立行政法人(国立研究開発法人を含む)、地方独立行政法人等の研究者、または学生(修士課程、博士課程)であり、かつ研究開発課題の核となる技術シーズの発明者である、もしくは発明に関わった者であること。なお、技術シーズとは事業化を目指す上で必要となる研究成果等を指す。応募に当たっては当該研究成果に関する特許を取得していることが望ましいが、特許出願中や特許を出願予定であるものや必ずしも特許出願を行わない研究成果(ソフトウェア等)に基づく応募も可能。ただし、学生(修士課程、博士課程)の割合は毎年20%以内とし、学部生は対象とはなりません。
- ② 技術シーズを利用したベンチャー企業の設立、事業化等により、大学等の研究成果の社会還元を目指していること。
- ③ 技術シーズについては、本支援を通じて創出されるベンチャー企業の実施に関してその技術シーズの発明者、技術シーズが帰属する機関等(特許出願人等)の同意が得られていること。
- ④ プラットフォームが目指すエコシステムの形成について、その趣旨を理解の上、貢献する意志を有すること。
- ⑤ 学生(修士課程、博士課程)が研究代表者となる場合は、学生及び指導教員が双方署名の上、以下の項目について確認したことを示す確認書を提出していただきます。
  - 学生と所属機関が、研究成果として生じる知的財産権の取り決めについて所属機関が合意すること。

＜タイプ I の要件について＞ ※以下の①～③の要件を、すべて満たすこと。

- ① 過年度において起業活動支援プログラムを実施するなどにより、一定の成果をすでに挙げており、事業化に向けて更なる加速のために必要不可欠(500～1,000万円程度では達成不可能)であると、プラットフォーム内の選考会等が評価した場合
- ② 研究開発チームに VC 等に所属する方が参画し、事業化に向けたハンズオン支援が適切に実施できる体制となっており、GAPファンドによる支援終了後に、起業する場合は、起業後に VC 等が出資する可能性があることをプラットフォーム内の選考会等で確認できた場合
- ③ ハンズオン支援をする当該 VC 等に所属する方と JST、委員会等で適宜進捗状況等の打ち合わせ等を行うことがあるため、その旨をプラットフォーム、当該 VC は了承すること。また、大学等の産学連携担当者等が、VC 等に所属する方のハンズオン支援のノウハウを学ぶことのできる仕組みで実施すること。